



ベーやん

今、一番言われていることで、記者の方も向こうから、「そんなにやるのか？」って声が出てますよね。

市川さん

月に。。。月にというか、二日に一本はいますからねえ。

ちんぺい

そうですねえ。

たぶん。。。ある意味、命を削るようなツアーになってくるかもしれないんですけどね。(笑)



## ロックバンドを凌駕する ライブバンド、『アリス』

市川さん

みなさん、アリスに対してイメージ、いろいろあると思うんですが。

たとえば歌がいい。たとえば歌詞がいい。サウンドがいい。なんかぐっとしみた思い出があるとかってあるでしょうけど。。

ベーやん

ほめすぎだよ。

市川さん

いや。。。一応仕事なんで(笑)。

ちんぺい

仕事かよ。。。 (笑)

ベーやん

そこそこでいいんだよ。

市川さん

ただそんな中でいいと思うのは、ほんとにアリスってライブバンドなんだっていうのが、ものすごくありまして。

特にこう。。。なんか繊細なものも、それから熱いものも、すべて実は力で押し切るような。。

そういう逞しいロックバンドっぽいところがあるかっていう記憶があるんですけど。

ベーやん

あ〜そうですねえ。勢いだけはなんかロックっぽいねえ。

ちんぺい

あの〜、なんか音量だけはロックに負けないようになっていうんで、矢沢がさっき叩いてたタンバという楽器をロックコンサートでもかましたりしましたから。闘争心はありましたね。

ベーやん

けっこう大きい音好きなんですよ。

普段小さくなってますから。(笑)

市川さん

どうしてこう単純にもっていくんですか。。。 (笑)

実際ね。さきほども使ってたけど、タンバ。

特にこういう鳴りのいいクラシックホールでは、まさにロックバンド殺し。。。 「ドラムって何？」みたいな、すさまじい

ものですねえ。

ちんぺい

矢沢は本職はドラムなんで、ツアーでも想いっきりドラムを叩いてもらって、タンバも鳴らすっていう。。。もう、命を削るみたいな。

ベーやん

ほんとそうですねえ。そう言った意味では無事60を迎えられたんですけど、これからあるコンサートというか、ツアー。。。ある種、自分たちの心のリハビリみたいなね。

もう一度こう、自分の中に復活させる、まだできるんだというのを、また再確認するような。。。感動しますよね。

朝起きて自分がどこにいるかを  
確認しながら年間304ステージ

市川さん

とりあえず今だったら、ドームとかいっぱいありますから、全国ドームツアーとか。。。本数は4〜5本で大会場でやればいよいよ発想になりがちなんです、あえてそれはせず。

ちんぺい

アリスで最初の頃って、メジャーヒット

